

・デートDVについて講演を聞き、くわしく知ることができました。たった一つの暴力をパートナーにふるっただけで、体だけでなく、心も傷つけてしまうんだなと思いました。今の自分の行動をよく見直し、行動を改めるきっかけになったので、しっかりと改めようと思います。

・自分が暴力じゃないと思っていたものが暴力だと知りびっくりしました。

・最初はデートDVって何のことだろう？とっていました。被害者の人は自分が悪いんだと思いがちで、私はその気持ちがすごくよくわかるので、そういう人がいたら、「あなたは悪くないよ」と言ってあげたいと思いました。

・女性だけでなく、男性も高い割合でデートDVをされていることにおどろいた。DVになり得る行動を知ることから始めたい。する側ではなく、される側になるかもしれないから、その時は家族などに助けを求めて、しっかり相手と話したい。

・DVをしている人にも理由があるのかもしれないが、それでも許せないと思った。DVはいろんな人を傷つけ、悲しいやな気持ちにすると感じた。

・DVは身体的暴力だけだと思っていたけど、他にも性的暴力、精神的暴力などがあることを知った。相手に伝えたいことの言い方を考えたり、相手の気持ちを分かろうとしてあげたり配慮をしようと思った。

・自分一人で止められなくても、他の人を頼ればいい。

・自分はこれは暴力ではないかなというものが暴力になることがあり、おどろいた。デートDVを防ぐためには、周りとの協力したり、相談することが大切だと思った。



・女子も男子も相手に対して、性別関係なくデートDVをしている人、されている人がいることが分かった。デートDVをされている人がいたら、助けてあげられるようにしたい。助けるときも、自分が危ない目にあわないように、気をつけて助けてあげたい。

・バイスタンダーという周りの人がとても大切だということが分かった。事前に準備しておくことが大切だと思った。自分は相手を傷つけているとわかっていても傷つけてしまっていることがあるので、話す内容は一回自分で考えてから発言することが大切だと思った。

・今日学んだことは、恋愛だけでなく、友人関係にも使えるような話だった。「イヤな関係」ではなく、本音が言えて安心できる「すてきな関係」になりたい。また、した人がどういう気持ちでも、された人が「いやだ」と思ったら、デートDVにあたるということが分かった。



デートDV防止啓発セミナー

第2回教職員
対象講座
8/1(火)開催

『子ども達を被害者にも加害者にもしないために
～デートDV防止の授業実践から考える～』
講師：上野 淳子さん(四天王寺大学准教授)



・デートDVの概念や現状から、中学生・高校生にも被害者・加害者が存在すること、DVの予兆でもあり、虐待やいじめとも関連するため早期の予防教育の必要性についてお話しいただき、様々な学校等で実施していただけるプログラムの実践やその効果について教えていただきました。

実践においては、男性加害ー女性被害や異性カップルを前提としないことなど、ジェンダーや多様性に配慮することも大切であることを学びました。誰もが安心して過ごせる安全・安心な社会になるよう、理解を深めて日々の業務や指導にあたることの重要性と使命感を実感できる講座となりました。

受講者の声

- ・デートDVについて理解しているつもりでお話を聞きましたが、モラハラの概念やバイスタンダー(その場にいあわせた人)について新たに学ぶことができた。
- ・「イヤ」と思った時にNO!と言えるようにコミュニケーションを学習することが必要だと思った。
- ・こういう学習は、若い世代の人たちにちゃんと学んでほしいと思うと同時に、自分たち世代の人たちにも学ぶ機会が必要だと感じました。

県内中学校・
高等学校等での
アウトリーチ
開催

「より良いパートナーシップを築いていくために
～デートDVについて知り、伝えていくことから～」

『デートDVをみんなで防ごう』
講師：上野 淳子さん(四天王寺大学准教授)

・デートDV予防プログラムを県内の中学校・高等学校等で実施校のニーズに合わせて行っていただいています。アクティブラーニングを用いて能動的な学びを促し、プログラム前後にアンケートによる効果検証も実施していただき、実施校にフィードバックいただいています。

デートDVについての知識だけでなく、対人関係スキルやバイスタンダー(その場にいあわせた人)の視点についても学んでいます。



県内中学校での開催の様子

講座	概要
8/4 (金) 第3回 教職員対象 講座	『セクシュアル・マイノリティについて私たちができること ～家族の支援・家族関係から考える～』 講師：松尾 ゆみさん 松尾 タクミさん (NPO法人共生社会をつくる 性的マイノリティ支援全国ネットワーク)
9/7 (木) 第3回 相談員スキル アップ講座	『発達障害と相談員のメンタルヘルス』 講師：辻本 哲士さん (滋賀県立精神保健福祉センター所長)
10/6 (金) 第3回 市町男女共 同参画担当 職員研修	『ジェンダーの視点から考える地域防災』 講師：勝身 真理子さん (ミュージアム代表)
10/7 (土) 第2回 G-NETほっと セミナー	『ケアを支える地域づくり ～世代とジェンダーの視点から～』 講師：斎藤 真緒さん (立命館大学産業社会学部教授)
10/19 (木) 第4回 相談員スキル アップ講座	『滋賀県内のDVの状況』 『相談員・DV相談担当者交流会』 講師：滋賀県子ども・青少年局職員
11/9 (木) 第3回 G-NET ほっとセミナー	『選ばれる会社になるために ～人に優しく成長できる会社にするには～』 講師：河村 俊樹さん (社会保険労務士)

『ジェンダーについて大学生が真剣に考えてみた』
佐藤文香：監修
一橋大学社会学部佐藤文香ゼミ生一同：著
明石書店 2019年



「友達にこんなことを聞かれた」「バイト先でこんな話が出た」「家でゼミで学んだことを話していたら父親と険悪になった」・・・ジェンダー研究のゼミに所属している学生たちが、それゆえに友人知人から投げられた様々な「問い」に、「いったいどうい
えばよかったんだろう」とまじめに思い悩み、それらをQ&Aとしてまとめました。ここに書かれていることを手がかりにして、ぜひ自分なりの解答を考えて欲しいと思います。

図書・資料室からの
書籍案内

今号の特集である
「若い世代からの
ジェンダー平等」を
テーマに今回は2冊を
紹介します。



『女の子だから、男の子だからをなくす本』
ユン・ウンジュ：著
イ・ヘジョン：絵
すみみ：訳
エトセトラブックス 2021年



性別の枠組みから自由になって、これから必要なジェンダーの知識を得るための、子どもと大人で読む絵本です。
「女の子はリーダーになれない」「女の子は気を遣いましょう」「男の子は運動しなきゃ」「男の子は泣いてはいけない」など、子どもたちを縛る「ことば」から自由になるためにはどうしたらいいのか。カラフルで楽しいイラストと語りかけるようなメッセージで、大人も子どももジェンダー観をアップデートできる一冊です。

自分らしく生きていくための
書籍・雑誌の紹介



G-NETしが図書・資料室では、男女共同参画に関する図書や関連資料、DVDやビデオなど約6万冊の蔵書があり、貸出しをしています。レファレンスサービス、情報提供も充実しています。ぜひ、ご利用ください。

